

南浦和中だより



第 6 号
平成 29 年 9 月 29 日(金)
さいたま市立南浦和中学校
さいたま市南区辻 6-1-33
Tel. 048-863-0753
さわやか相談室 直通
Tel. 048-837-5909

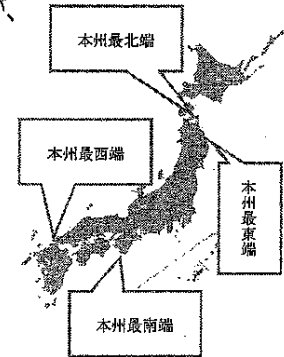
《学校教育目標》日に新た 心豊かに たくましく

「チャレンジすることが大事！」

校長 益子 慶次

秋雨前線や台風の影響から、当日も心配されましたが、9月16日(土)に無事体育祭を行うことができました。多くの御来賓、地域の皆様、御家族の皆様、総勢約1,300名の方々に御来校いただき、温かい声援や励ましの言葉をお送りくださり、誠にありがとうございました。生徒たちも今年のテーマである「All out ~繋げ 輝け この時を~」のもと、まさに全力を傾けて輝くことができ、生徒と本校教職員が一体となって創り上げた体育祭となりました。そして、10月は合唱コンクールがあります。クラス一丸となり頑張っている姿を、また楽しみにしたいと思います。

さて、私は旅が大好きです。20歳のとき、はじめて一人旅で長崎方面に行きました。幼いころは、家族に連れられ、いろいろ旅はしていましたが、「20歳 = 大人」ということで初チャレンジをしました。少し成長できた気がする旅でした。もうすぐ30になるという29の夏、このまま30歳になっていいのか、何かチャレンジしなくてはと思い、ヨーロッパ周一人旅をしました。ものすごいカルチャーショックを受けました。人生観が変わったといっても過言ではない旅でした。今までの狭い視野が、少しだけ開けた気がします。その後は、結婚、子育て、ファミリーキャンプ10年連続中という充実期です。そして、また何かチャレンジしたいということで、何ということはないのですが、どこまで行っても1000円ETCという10年程前、車に銀マットとシュラフを積んで、青森まで2泊3日で本州最北端へ結婚後初めての一人旅にチャレンジしてみました。休憩しながら7時間半で青森に着き、ねぶた祭りの最終日、『ラッセーラーラッセーラー』のかけ声、人・人・人、歓喜と興奮が青森を熱く燃え上がらせていました。翌日、秘境の風情が色濃く漂う中、本州最北端の地「大間崎」へたどり着きました。この何気ないチャレンジが、何か自分に火をつけ、毎年一か所ずつ車で回り、本州四端(最東端・岩手県宮古市、最南端・和歌山県串本町、最西端・山口県下関市)を踏破し、本州四端踏破証明書もゲットしました。たくさんある夢の実現へのチャレンジのひとつとして、次はいわゆる「日本本土四端めぐり」のスタートです。一昨年は、日本本土最西端の長崎県佐世保市神崎鼻公園まで行ったのですが、この夏は、四国四端(最北端・香川県竹居観音岬、最東端・徳島県蒲生田岬、最南端・高知県足摺岬、最西端・愛媛県佐田岬)を走ってきました。来年の夏はどこを走ろうかと考えるだけで、今からワクワクします。大好きな温泉、各地でのおいしい食べ物を必ず堪能するのもまた楽しみです。仕事のこと、家族のことを見つめなおすのに大変貴重な時間となり、最高のリフレッシュになっています。そして、いつかは家内をつれてアメリカ大陸横断することも、私の夢の一つです。何かを始めるのに“今さら遅い”ということとは決まてないと思っています。チャレンジすることが大事で、失敗することを恐れてはいけません。何もしない、動かないことが失敗だと思います。一步を恐れずチャレンジすることで、今まで見えなかった景色が見えてくるのだと思います。



明日から「さいたま市中学校新人体育大会」が、本格的に始まります。3年生からバトンを引き継ぎ、1、2年生がこれまでの練習で鍛えた技とハートで、力を発揮する大会となります。普段通りの力を十分に出来るよう楽しみにしております。保護者の皆様には、ぜひ、生徒たちが夢の実現に向けチャレンジする姿を見に、会場へ足を運んでいただき、温かい声援を送ってくださいますよう、よろしくお願いたします。